



ブックスタートのボランティアをしてきた中で、とても嬉しかったことや、印象に残っていることをお話します。

一つは、6か月の赤ちゃんの素晴らしい笑顔に出会えたことです。当時は、6か月の赤ちゃんにはまだ絵本は早いと思っているお母さんたちがほとんどでした。

2つ目は、ブックスタート・プラスが始まった時に、6か月健診でもらった絵本を、子どもたちがちゃんと読んでもらっていて、その絵本が大好きになっている姿を、この目で見る事ができたことでした。

嬉しいことの3つ目は、「0歳の赤ちゃんも絵本を読んでもらうのが好き」ということが、だいぶ知れ渡ってきたということです。

ブックスタートは、子どもたちの育ちを温かく支え、子育てにエールを送り、ひいては人づくり、まちづくりにも資するような、大切な取り組みになっているのではないのでしょうか。赤ちゃんの笑顔に励まされ、力をもらいながら、皆様とご一緒に頑張りたいと思います。

おはなしポケットの会 足立茂美さん

僕が一番好きな絵本はブックスタートでもらった「おつきさまこんばんは」です。

読んでもらったことは覚えていませんが、妹や弟に読んであげたとき、じっと絵本から目を離さないで、手と足に力を入れて聴いていたので、僕もこんなふうになっていたのかなあと感じました。



赤ちゃんのころから、たくさんの絵本を読んでもらったおかげで、本が好きになりました。僕をいろんな世界に連れて行ってくれる本をこれからも楽しんでいきたいです。

私には、小6の息子と小3の娘、年中5歳の息子がいます。ブックスタートに、ブックスタートプラス、また3人目は母子手帳交付のときもあり3人で10冊の絵本をいただきました。長男はブックスタートが始まって2年目の時でした。どんな絵本がもらえるのだろうと、ワクワクしながら6か月健診に出かけた事を覚えています。ボランティアの方の絵本の読み聞かせをみてこんなふう読めばいいのだと教えてもらいました。

毎日たくさんの絵本を読むうち、子どもの頭の中や心の中には、しっかりと絵本の世界が広がっていて、そのことを共有できる私との時間を楽しんでいるのなだなぁと感じ、とても嬉しくなりました。

生活の中に絵本があったおかげで、親子でゆったりとした時間を過ごし、子育てをより楽しいものとしてもらいました。絵本に親しむきっかけをつくってくれたブックスタートが、これからも続いていけるよう一市民として応援していきたいです。

渡辺さん親子



読みメンとは?

子どもに絵本を読む男性のことです。

「読みメン」ということばには、お父さんやおじさんにも、「もっと子どもさんと絵本を一緒に楽しんでほしい!」という願いが込められています。



講師 境港市水産振興協会 米村健治氏

「このすしなあに」
「おさかないちば」

お寿司の絵を見ながら、米村氏が子ども達に魚の名前を問いかけます。恥ずかしそうにする子や大きな声で答える子。よく知っているねと褒められて照れたり、笑ったり、聴いている人を楽しませながら読み進みました。



講師 境港市 国際交流員 趙世英氏
境港市 図書館長 松本修一氏

「ぐりとぐら」

日本語と中国語で交互に読み聞かせ。松本氏の優しい声と歌声、趙氏による中国語の抑揚ある響きに子どもも大人も引き込まれました。



読みメン講座

～絵本で子どもと楽しもう!～

開催

(境港市読書まつり共催)



会の結成

平成5年の春、中浜公民館から、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどのおはなしの部屋を開いてほしいという要望があり、さっそく仲間を募って、4月から「絵本とおはなしの部屋」を開くことになりました。当時メンバーは6名。その中に、以前境港市内で読み聞かせ活動をしていた「ポケットの会」のメンバーがいたので、その思いや名前を引き継ぐことにして、「おはなしポケットの会」と命名しました。

当初、活動経験のある2名を除いてみんな初めての経験でした。毎回冷や汗をかきながらも、子どもたちの素晴らしい笑顔や反応に出会い、その楽しさが活動意欲や結束力を強めてくれました。次第にもっとたくさんの子どもたちとも出会いたいと思うようになり、保育園・幼稚園・小学校などへの「おはなし会」の出前活動も始めました。平成9年5月からは、活動場所を境港市民図書館に移し、今日に至っています。

現在の活動内容

- ①絵本とおはなしの部屋 第1土曜日14:00~15:00 市民図書館分館(幼児から大人まで自由参加)
- ②赤ちゃんのための「おはなし会」 第3金曜日11:00~11:30 地域子育て支援センターひまわり内「えほんの部屋」(0歳~3歳の乳幼児とその保護者)
- ③「おはなし会」の出前 依頼を受けて随時実施(保育園・幼稚園・小学校など)
- ④春休み・夏休み・冬休み「おはなし会」 境公民館にて(幼児から大人まで自由参加)
- ⑤「おはなしポケットおたより」を第1土曜日に発行 おはなし会に参加する保護者や市内の保育園・幼稚園・小学校・公民館などに配布
- ⑥市のブックスタート及びブックスタート・プラス事業に読み聞かせボランティアとして参加協力。
- ⑦講演会やワークショップなどの開催 会員の研鑽と、一般の方にも読み聞かせや語りの大切さや楽しさについて関心を深めてもらうことを目的に、随時開催。

以上のような活動を続けてきて学んだことは、子どもたちの読書環境をより豊かにするために、他のグループや多くの人たちと思いを共有すること、そして力を合わせることの大切さだと感じています。境港市では、平成13年に「ブックスタート連絡会」、平成16年に「境港市図書館連絡協議会」、平成19年に「境港市読み聞かせ団体連絡協議会」が立ち上げられ、子どもたちにかかわる者同士、手をつなぎ合っているいろいろな取り組みをしてきました。私たちの会もその一員として、子どもたちの笑顔が広がるまちづくりに寄与できるような活動を、今後とも続けていきたいと思ひます。



- 浅野智恵子……絵本をとおして、子どもの幸せを願う温かい思いを、みんなで繋げていきたいです。
- 足立 茂美……赤ちゃんとお母さんを励ますつもりで始めたボランティアですが、いつも、赤ちゃんの笑顔に励まされ、力づけられています。
- 池淵 清美……絵本はきっと子どもたちに、「根っこ」と「翼」を与えてくれると信じて、毎回楽しみにブックスタートの会場に出かけていきます。
- 大西 明美……お母さんと絵本と読み手の顔を、かわるがわる見つめる赤ちゃんの眼差しがかわいくて…。誰もが幸せな気持ちになります。
- 西田 あつ……今日はどんな赤ちゃんたちに出会えるかな？そんな思いで保健相談センターのドアを開けます。
- 増谷 京子……絵本を介して親と子の幸せな時間をつくり、赤ちゃんのこころを育むブックスタートのお手伝いできて嬉しいです。
- 山岡 睦美……赤ちゃんとお母さんの語り合う時をつくる絵本。そんな素敵な絵本をお届けする機会を与えてくれるブックスタートに感謝です。



朗読グループ「なぎさ会」

平成4年、朗読グループ「なぎさ会」を発足以来、40代から80代まで幅広い会員が集まり、いつも明るくアットホームな雰囲気です。

(現在会員数：8名)

また、勉強の傍ら、細く長く楽しくをモットーにボランティア活動を続けています。

代表 池淵 美津子



足立 芳枝 池淵 美津子 塩見 洋子 中永 理恵子
雲内 恭子 門永 慈子 三島 智子 大田 昭子

境港市関係の ボランティア活動

- ・ブックスタート
- ・ブックスタートプラス
- ・おはなし広場 (第2土曜日担当)
- ・子育て支援センター「ひまわり」(第1金曜日担当)
- ・児童クラブ
- ・読書活動推進大会への協力

その他の活動

- ・本の学校子ども図書室「おはなしタイム」
- ・絵本ワールド

施設への 朗読ボランティア活動

- ・さかい幸朋苑
- ・新さかい幸朋苑
- ・デイハウス上道
- ・花の里・時の里
- ・グループホームせいどう

なぎさ会定例勉強会

- ・場所：なぎさ会館
- ・毎月第1水曜日 午前10時～12時

「なぎさ会」24年の歩み * 楽しく挑戦 *

- 平成5年 「境港百景」出版記念朗読会開催(朗読テープ作製)
- 平成7年 「春のふれあいステージ」出演(「金子みすゞ詩集」)
- 平成8年 「紙芝居コンサート」出演(「境港百景」映像と朗読)
- 平成10年 サロンコンサート「境むかし語り」上演(「鬼が沢の伝説」など)
- 平成11年 「第10回ふるさとふれあい音楽祭」出演(昔の遊び歌・子守歌など)
- 平成13年 「境港妖怪フェスティバル」出演(「幽霊滝の伝説」「のんのんばあとおれ」)
西伯郡中学校総合文化祭「日本音楽を楽しもう」出演(「つるのおんがえし」)
- 平成14年 第17回国民文化祭「妖怪フェスティバル」出演(京極夏彦作「お化け竜巻」)
- 平成15年 キャンドルナイト in 境港「冬至の闇を楽しむ」出演(「お化け竜巻」)
- 平成16年 キャンドルナイト in 境港「妖怪と闇を楽しむ」出演(「蜘蛛の糸」)
第2回鳥取県総合芸術文化祭明治の芝居小屋「朝日座」出演(「お化け竜巻」)
- 平成18年 サロンコンサート(第101回)出演
なぎさ会15周年記念朗読コンサート「母の日に贈る言葉」
境港市文化ホール「金子みすゞの世界」出演
- 平成19年 夢みなどタワー「小泉八雲の名作に浸る」出演(「八雲怪談話」)
- 平成20年以降 「おはなし訪問隊」への協力などボランティア活動を行う

ブックスタートと共に

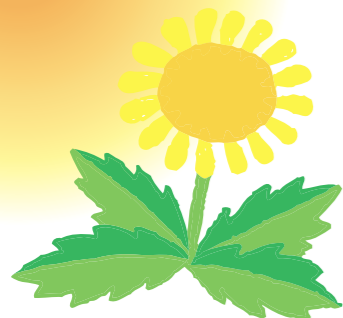
15年記念と聞き、あの頃の赤ちゃんがもう中学生かと月日の早さに驚きます。絵本を見るとすぐ手を出して持とうとした赤ちゃん。きっと、本が大好きな若者に成長しているだろうと想像して嬉しくなります。(T.M)



親子と絵本の出会いが、楽しい時間になればと願いながらお手伝いしています。(M.I)



15年も経ったんですね。若いお母さんや赤ちゃんに身近に接することができて、こちらの方が元気をもらっています。喜んでもらえて嬉しいです。特に他地域から移住された方などに。誇らしく思います。(A.O)



おしゃべりたんぽぽ

結成時期：平成8年5月 会員数：11名 代表者名：浜田照美

結成目的

朗読ボランティア養成講習会受講者で結成しました。

境港市の未来を担う子供たちに絵本を通して読書が大切であることを伝えたい。又この頃学校は週休二日となる時期であったため、子供たちの楽しい居場所になればという思いもありました。そして、学んだことを実施し、達成感を得たいという気持ちもありました。



活動場所

- * お話し広場（市民図書館分館） 毎月第3土曜日14時～15時
- * 子育て支援センターひまわり 毎月第4金曜日11時～11時30分
- * 上道児童クラブ 毎月14時～15時（日程はその都度決定）
- * 光洋の里 奇数月第4日曜日 14時～15時
- * なでしこルーム（済生会病院内保育室）偶数月10時～10時30分（日程はその都度決定）
- * 市立余子小学校朝読
- * ブックスタート・ブックスタートプラス
- * その他 市立中浜小学校・市立第二中学校・夢みなと子どもまつり・老人施設・境港市読書まつり・市民活動センター十年まつり・本の学校おはなしタイム・絵本ワールド

内容

- ◎ 絵本読み聞かせ・紙芝居・人形劇・手遊び・歌・エプロンシアター・ワークショップなど



会の特色

最近是人形劇に挑戦しています。皆絵本大好き人間です。

メンバー紹介

11名のメンバーのうち、ブックスタート・ブックスタートプラスに関わっているのは、ブックスタート3名、ブックスタートプラス1名です。それぞれがこの事業への思いを書きました。



ブックスタート事業開始当初は、子どもの成長に絵本が欠かせない存在であるということに、お母さんたちは気づいてはいなかったように思います。最近では、ブックスタートという言葉もその意味についても知っているお母さんが増えていると思います。学校での朗読を経験して、ブックスタートの重要性を感じています。

浜田照美

1才半ってとても素敵な年齢！うまく歩けて走れるようになり、手も器用になって絵本もめくれます。まだおしゃべりは出来ないけれど何でも分かります。お兄ちゃんやお姉ちゃんが大好きで、すぐに真似をして大喜び！健診は計測や診察など苦手なこともあるけれど、絵本コーナーは楽しみ！どうぶつ、のりもの、くだもの、おばけ、準備された絵本を次々と手に取って見えています。ボランティアのおばあちゃん「読み聞かせの心得」の存在を忘れて、笑顔で見つめるばかりです。

中村登美子

とても楽しい時間です。娘や孫の成長を見守る気持ちで参加しています。お母さん達と同世代の子供がいるので、参加するのが楽しみです。アドバイスを求められたり、逆に素晴らしいアイデアに感心したり。赤ちゃんとお母さんの傍に居ると、癒されます。最近情報は多いせいか、お母さん達は知識も自信もあり、しっかりしています。本の読み聞かせも上手に生活に取り込んでいます。ほとんどのお母さんが「仕事復帰が数ヶ月後」というのが惜しい気がします。

木村和子

メンバー紹介
ブックスタートへの思い

ブックスタートボランティアで赤ちゃんに本を渡そうと声をかけると、不思議な顔をしてじっとこちらの顔を見る。絵本に興味をひかせようと絵本を少し読んだり、本の角度を変えてもやはりじっとこちらの顔を見ている。そのうちに本を口に。このような展開に最初は戸惑いもあったが赤ちゃんのキラキラした目をみているとついこちらも笑顔になってしまう。赤ちゃんと保護者が絵本を介してふれあう手助けをしながら私達が楽しい時間を過ごさせていただいている。

永井節子



なでしこ5

プロフィール

平成23年6月、おはなしポケットの会の足立茂美先生に声をかけてもらい、子育ての経験を生かし、子育て中の家族に寄り添い親子の心豊かなふれあいを大切にしながら子どもの成長を喜び合える、そんな近所のおばあさんのようなことができればいいなという思いで、保育園退職者や子育て経験者5人で「なでしこ5」を結成しました。現在は6人です。地域の若いお父さんお母さんたちの話を聴き、「応援してますよ。お手伝いしますよ。」という思いで笑顔が広がるまちづくりの一助になればいいなと思って活動しています。

代表者名 保坂 史子



活動場所

内容

ブックスタートプラス 境港市保健相談センター

一歳半健診の時、ブックスタートプラスとして「ブックスタート」で芽生えた親子の楽しいひとときをさらに充実してもらうよう集団指導の中でお話をし、抱っこや肉声で語ることのすばらしさやぬくもりを感じてもらえる絵本の読み聞かせや手遊び、エプロンシアターなどを行っています。

市民活動センター行事のボランティア ひまわり・きらきら

きらきら祭り、親子料理教室、芋苗植え、芋掘りなど



メンバー紹介 ブックスタートへの思い

同じ絵本を繰り返しめくって話かけてくる子ども達がかわいく、お父さんお母さんが子どもに語りかけ楽しんでいる姿が思い浮かびます。子ども達が笑顔で帰って行く姿に癒され元気をもらって楽しく参加しています。

渋谷 淑美

親のひざの暖かさやぬくもりが子どもにとって嬉しいんですね。絵本を開くことで誰もが楽しく、子どもとゆっくり触れ合う時間をもてるようにと願っています。親子の笑顔にほほえましく幸せな気持ちになりパワーをもらっています。

博田 裕美子



子ども達にお父さん・お母さんの声やぬくもりがいつまでも残り、自らの手で本を開き、心豊かでゆとりある毎日を送ってほしいと思っています。一緒に活動する仲間とかわいい親子との出会いが、これからもずっと続きますように。

保坂 史子

絵本を見つめる子ども達の表情や笑顔・かたこと言葉に元気をもらい癒されるひとときです。子ども達が成長しても本がいつも身近な存在になる事を願い、これからもブックスタートプラスで親子との出会いを大切に続けていきたいと思っています。

松本 雅子

図書館長から引き継いだ「ブックスタート…とは」の話。大勢の人に伝わるように話す難しさ、そして適度な緊張感。話し終えてから絵本を通しての親子とのふれあいは心和むひとときです。

松本 美紀枝

毎月沢山の親子に出会える事が楽しみです。一歳半で絵本に興味を持ってきている時期に読み聞かせを通して親子のふれあい又共感できる楽しさをお手伝いできることをうれしく思っています。

安田 利枝